

福井市学校教育目標
「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」
福井市学校教育方針
「学びをつなぐ・未来につなげる」
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～
足羽第一中学校区教育
「自らの思いをもち、主体的に学び高め合う
児童・生徒の育成」
～校区教職員が協働した授業改善・指導力向上の推進～

令和5年度酒生小学校スクールプラン

【教育目標】	
主体的に学び、協働する子の育成	
【校訓】	【めざす児童像】
正しく 強く 美しく	主体的に考え、正しく判断し行動する子 失敗を恐れず、ねばり強く挑戦する子 美しい心をもち、思いやりのある子

酒生小児童の強み○・弱み▲

- 素直で明るくて、一生懸命努力する
- 時間や規則を守る
- 場に合ったあいさつや返事ができる
- やさしく思いやりがあり、男女仲良く協力できる
- 地域の歴史的遺産を大切にしたいという思いが強い
- ▲指示待ちが多く、自ら学ぶ主体性が弱い
- ▲自己表現が苦手
- ▲多様な考えを出したり広めたりするのが苦手
- ▲自己肯定感が低い

〈つながるを大切にしたい学校づくり〉
○重点事項
・主体的な学びと ICT 活用をつなぐ
わかる授業づくり
〈研究主題〉
「学びが楽しい」と実感する授業づくり
～学び方の習得を通して～

【主体的に学ぶ子の資質・能力】進んで学ぶ力・協働する力・自己表現力・多面的に考える力・メタ認知

【めざす学校像】～笑顔がいっぱい酒生小～
・一人一人が安心して、笑顔で楽しく通える学校
・「学びが楽しい」と実感できる授業改善に挑む学校
・家庭・地域から応援してもらえる学校

【めざす教師像】～チーム酒生～
・笑顔・あいさつ・励ましを大切にする教師
・主体的に学ぶ授業を追究する教師
・学び方と協働する力を育む教師

本校の教育的課題

- ①主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・個別最適な学び
 - ・協働的な学び
- ②G I G Aスクール構想の実現
- ③持続可能な働き方の推進
- ④「午前5時間制」の進化・充実

重点目標	確かな学力の育成 主体的な学びを育む授業づくり	豊かな心の育成 温かい人間関係の構築	健やかな体の育成 健康増進・体力の向上	信頼される学校づくり 家庭・地域との協働体制の構築
	① 基礎的な学習力の定着 - 言語活動の充実 - 基本的な学習技能の習得（聞く・話す・書く・読む） - 場に応じた個別支援の充実 ② 学びが楽しいと実感できる授業改善 「午前5時間制」の「まなびタイム」を活用した主体的な学び方の習得（習得と課題解決の学習サイクルの習得） - 主体的な学びの場（個別最適な学び、協働的な学び）がある授業の工夫 - 自分の学びを振り返り、主体的な学びとメタ認知を促すルーブリック表の活用 - ICTを活用した学びが楽しい授業づくり - 教職員の校内研修会・研究会の充実 ③ 主体的に学ぶ力の育成 - 学び方の習得による主体的な学習の推進 - 教師による評価や勇気づけ、振り返りによる自己分析とメタ認知力の育成 - 児童が主体的に取り組む宿題の工夫 - 保護者と連携した家庭学習の習慣化	① 温かい人間関係のある学級づくり - 教師の笑顔と励ましによる自己有用感と自己肯定感が持てる学級づくり - 教職員による児童理解の充実（終礼・研修） - 児童アンケートを活用したいじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決 - 関連機関と連携した悩みや相談への対応 - 考え、対話する道徳授業による思いやりや感謝の心の育成 - ロング昼休みを活用した温かい人間関係づくり（縦割り班活動の推進） ② 地域や学校への愛着と誇りの育成 - 文化、産業、歴史等の地域に根ざす体験活動による地域学習 ③ 当たり前のことができる力の育成 - 凡事徹底（あいさつ・返事・後始末） - レジリエンス（失敗を恐れない心）の育成 - いじめを見逃さない心の育成	① 健康な生活習慣の定着 - 家庭と連携した基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の定着 歯、目、姿勢の日常的な健康を意識させる指導 - 食に関する知識と望ましい食習慣を身につける食育の推進 ② 運動習慣の定着と体力向上 - 校庭での外遊びの奨励 - 体力づくりを目指した体育授業と学校行事の推進 ③ 危機管理（危機回避）能力の向上 - 登下校指導、交通安全教室、避難訓練等による危機管理（危機回避）能力の育成 - 適正なネット利用や情報モラル育成の指導及び保護者への啓発 - 感染防止対策の徹底	① 学校公開と情報発信 - 授業参観、学校行事、学校だより、ホームページによる積極的な学校公開と情報発信 - 保護者との意思疎通や電話・来校者への誠実な対応 ② 社会に開かれた教育課程の推進 - 地域の素材や人材を活用した教育活動の展開 「家庭・地域・学校協議会」での情報交換を生かした学校改善 ③ 関係学校・園や外部機関との連携 - 中学校区の連携の在り方の見直し - 学びと育ちをつなげる「こども園」との交流、連携充実 - 児相や特教センター等の関連機関の協力を得た気がかりな児童の対応
	○授業がよくわかる（児童：90%） ○授業に進んで取り組んでいる（児童:90%） ○学び合いの場の確保（教師：90%） ○家庭学習が習慣化している(保護者：80%)	○学校が楽しい（児童：90%） ○いじめを見たらとめたりする（児童:80%） ○あいさつができる習慣（児童：90%） ○児童の良い点を認め習慣化する指導（教師:90%）	○学校は安全面・健康面について適切に指導している（保護者：90%） ○学校は食育や健康な体づくりに力を入れている。（保護者：90%） ○我が子のネット利用の管理(保護者：90%)	○保護者へ適切に学校の情報を伝えている（保護者：90%） ○地域に関する体験活動の取組（教師：90%）
数値目標	<業務改善のための取組> ・午前5時間制による放課後時間の効果的活用 ・iPad（Teams）による教師間情報の効率化 ・業務推進日の設定 ・会議方法の精選（ペーパーレス）			